

事業所名

共生型アイリス放課後等デイサービスセンター

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

6日

法人（事業所）理念		一人ひとりが役割と生きがいをもって地域とつながり生きていける支援と地域づくりを行います。					
支援方針		社会との交流をはかることができるよう、身体および精神の状態並びにおかれている環境に応じて手季節かる効果的に生活能力向上のために必要な訓練を行います。地域及び家族との結びつきを重視した運営を行い、その他福祉サービスや保健医療サービス提供者との連携に努めます。					
営業時間		8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持のため心身の状態把握を行います。 身だしなみの整え方、排泄の自立、手洗い・うがいなど基本的衛生行動が獲得できるようにします。 過ごし方の視覚支援など具体的に表示する構造化を意識した環境の設定を行います。					
	運動・感覚	運動遊びや感覚遊びを通して感覚の統合を支援していきます。 創作活動などを通して手指の巧緻性の向上を図ります。					
	認知・行動	環境から情報を得て理解し、行動できるように支援します。 時間や空間の概念が形成でき行動の手がかりちできるよう支援します 認知の偏りを修正しつつ、環境に合わせた行動ができるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	職員や友達と過ごす中で、言葉遣いやコミュニケーションの取り方を学べるようにしていきます。 落ち着いて読み書きに取り組めるよう個別の環境でそれぞれの宿題やプリントに取り組めます。 挨拶や学校での過ごし方などを話題にしながら自分の気持ちを出し、相手の話をよく聞くことができるよう支援します。					
	人間関係 社会性	小集団で友達を意識したり、あそびなどを通して社会のルールを理解していくことを支援します。 地域施設などへの社会見学、イベント参加を通じた地域交流を行っていきます。					
家族支援		成長と共に変化する発達課題や思春期の課題等をともに乗り越えるために、家族の困りごとに寄り添いながら事業所での様子、家庭での様子の情報交換を行い、家族への助言、関係機関への紹介などを行う。			移行支援	学齢と共に変化する生活課題に対する目標を明確にしていく。そのための発達の評価、取り巻く環境の評価、支援の具体的伝達、支援事業所間の情報伝達に努めます	
地域支援・地域連携		学校との連携及び、地域の社会資源を積極的に活用した遊びや社会体験などを通し交流の場を広げていきます。			職員の質の向上	法人の年間研修計画に基づき、倫理や法令遵守、虐待防止等の研修実施 障害特性、制度の仕組みの理解に関する研修への参加 外部研修・オンライン研修とうによる資質向上に資する研修の参加	
主な行事等		季節の行事（お花見・端午の節句・七夕・オリンピック運動会・クリスマス会・節分祭・ひな祭りなど） 避難訓練 社会見学等（夏休み・冬休み）					